

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「**アイツに任せればどうにかなる！**」と圧倒的に信頼される人が
持っている1つの考え方とは・・・～

近年、「頭の回転の速さの象徴」としてお笑い芸人が多くの場面で活躍をしている。そんなあらゆるジャンルで活躍をし続けるお笑い芸人たちをこれまで30年間指導し、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』でも話題になった伝説のお笑い講師・本多正識氏による『1秒で答えをつくる力』に、ナインティナインや中川家、キングコング、かまいたち・・・など今をときめく芸人たちをこれまで1万人以上指導してきた本多さんの仕事に対する考え方が述べられています。では・・・どうぞ

皆さんのまわりに「仕事を任せられるような優秀な人」はいますでしょうか。こういった人はどんな職場でも、実力を認められ、重宝されるでしょう。そんな、仕事を任せられる人が持っている考え方があります。それは・・・「相手の目線で仕事を捉えること」です。どういふことか見ていきましょう。

まず、能力は高いのに、仕事で信頼されない人は、自分目線でしか仕事をすることができません。相手のニーズを汲み取らず、「こうした方がいい」「このやり方は効率が悪い」と自分のルールで仕事を進めてしまうのです。

ときには「どうして自己流で進めてしまうんだ。」と相手を困らせてしまうこともあります。

こういった人は、仕事を依頼してきた相手がどんな気持ちなのかを考えることができていません。たとえば、スピード優先の案件なのにもかかわらず、質を優先してしまったり、お願いされたことから外れて、自分のやり方を押し通してしまうなど、その種類はさまざまです。せっかく、そういった仕事をするだけの能力はあるのに、このようなことになってしまうのは非常にもったいないでしょう。

対して、仕事で信頼される人は「相手視点」で考える。仕事で信頼される人は、相手の意図を汲み取るのが非常にうまいのです。「ここは速さ重視で仕上げた方がよさそうだな」「途中で見せて確認しながら進めた方が安心だろう」と相手の気持ちになって仕事を捉えることができます。

皆さんも経験があるかもしれませんが、仕事をお願いしたいと伝えただけで、意図を汲み取ってくれる人がいたらどう思うでしょうか。多くの方が「この人は本当に頭が良くて助かるな」と感じるはずですよ。

つまり、仕事で信頼される人は、自分勝手な仕事スタイルではなく、まわりの人との関係性のなかで、自分の実力を発揮できるのです。

もし、皆さんも仕事を任せられたときは、「これって〇〇ってことでいいですか？」と、自分なりに汲み取った意図を確認してみてください。ほんの少しのやり取りで仕事は一気にスムーズになります。

仕事を任せられるということをストレスに感じる人もいるかもしれませんが、しかし、誰もが仕事を任せてもらえるわけではなく、ほとんどの場合、その人が優秀だからこそ仕事が集まってくるわけです。

そのことを頭に入れながら、ぜひ積極的に仕事に取り組んでみてください。

「1秒で答えをつくる力 お笑い芸人が学ぶ「切り返し」のプロになる48の技術致知」ダイヤモンド社



キーワードは・・・「相手視線」・「相手目線」・「まわりの人との関係性のなかで、自分の実力を発揮」ではないでしょうか？本校の校訓は・・・「誠実」・「克己」・「忠恕」です。まさに、「**アイツに任せればどうにかなる**」と**圧倒的に信頼される人**ではないでしょうか。

さあ！遠足・オリ合宿も終わり、県伊祭の準備が始まります！この考え方や視点取り入れてみませんか？